

会計名 一般会計			ミロコマチコ展開催事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	5	7					担当係	美術館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
	施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり							
	目的	国内外の絵本賞や文芸賞を立て続けに受賞し、新作が常に期待される絵本作家ミロコマチコの個展を開催することで、美術に対する理解・親しみを深める機会とし、芸術文化の高揚を図る。	主たる内容	近作・新作を中心とした絵画や絵本原画、立体作品等を展示し、その魅力を紹介する。 ○会期 令和3年4月24日～6月6日（38日間） ○会場 全館 ○入場料 一般当日 1,000円 学生当日 800円					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和3年度 ～ 令和3年度		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 計画 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		_____		_____		・ライブペインティング 1回 ・トークショー 1回 ・ギャラリートーク 3回		_____	
成果		ライブペインティングやトークショーなどのイベントを開催し、より身近に芸術に触れる機会を提供できた。							
課題		小学校での作家との交流を予定していたが、新型コロナの影響により実施できなかった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
成果指標		入場者数（人）			—	—	10,930	—	—
成果指標		入場者アンケートの満足度（%）			—	—	90.8	—	—
他市との比較検証		展示会の巡回地の会期・入場者数…高知県立美術館：令和3年7月24日（土）～9月20日（月）・5,281人							
C 事業コスト V		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	23,605	0	合計	23,604,984 円	
	財源	特定財源	0	0	10,810	0	報酬	2,984,284 円	
		一般財源	0	0	12,795	0	報償費	240,000 円	
	職員人件費 ②		0	0	6,814	0	旅費	102,190 円	
	総事業費（①+②）		0	0	30,419	0	需用費	2,555,006 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	3年度特定財源名称				役務費
3年度までの累積事業費		0	入場料 冊子等頒布収入				委託料	4,552,900 円	
5年度以降の事業費見込		0					負担金、補助及び 交付金	12,430,000 円	

会計名			ミロコマチコ展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	5	7			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	作家によるライブペインティングを開催し、身近に芸術を感じられる最適な機会となった。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置付けられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	コロナウィルス感染拡大防止に配慮し、マスク着用等の対策を行いながら、鑑賞の機会を提供することができた。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		

会計名 一般会計			野口哲哉展開催事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	5	7					担当係	美術館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	鑑と人間をテーマに、現代性や人間性を問 いかける現代美術作家野口哲哉の展覧会を開 催することで、その幅広い思考や精緻な作品 に込められた優しさと悲しさ、人間への好奇 心にあふれた世界を紹介し、現代美術に対す る理解を深め、芸術文化の高揚を図る。		主たる内容	立体、平面などの代表作や最新作を展示し 独自のアートをつくり出す野口哲哉の作品世 界を紹介する。 ○会期 令和3年9月18日～11月7日 (44日間) ○会場 全館 ○入場料 一般当日 1,000円 学生当日 800円				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	令和3年度 ～ 令和3年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 D 実績 O ハ 実 施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		—		—		・トークショー 2回 ・作家によるミニトーク 1回 ・ミニトーク 5回		—	
成果		トークショーや作家によるミニトークなどのイベントを開催し、より身近に芸術に触れる機会を提供できた。							
課題		幅広い年齢層の方に来ていただいたが、若い世代の方にもう少しPRできるとよかった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
成果 指標		入場者数（人）		—	—	10,796	—	—	
成果 指標		入場者アンケートの満足度（%）		—	—	87.5	—	—	
他市との 比較検証		展覧会の巡回地の会期・入場者数…館林美術館：令和3年7月3日（土）～9月5日（日）・12,765人							
C 事業 コスト 建設 事業		単位：千円		元年度 （決算）	2年度 （決算）	3年度 （決算）	4年度 （予算）	3年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	24,652	0	合計	24,652,156 円	
	財 源	特定財源	0	0	10,455	0	報酬	3,422,724 円	
		一般財源	0	0	14,197	0	旅費	45,290 円	
	職員人件費 ②		0	0	6,435	0	需用費	4,495,319 円	
	総事業費（①+②）		0	0	31,087	0	役務費	1,174,423 円	
建設 事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
	3年度までの累積事業費		0		入場料				
	5年度以降の事業費見込		0		冊子等頒布収入 文化芸術振興費補助金（国） 講座受講料				

会計名			野口哲哉展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	5	7			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	作家を招いたイベントを日にちを分けて複数企画したことで注目を集め、集客と売上向上につながった。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置付けられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	コロナウィルス感染拡大防止に配慮し、マスク着用等の対策を行いながら、鑑賞の機会を提供することができた。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		

会計名 一般会計			参加・体験型美術教育普及事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	美術館		
10	5	7					担当係	美術館		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	創作・発表の機会づくり							
	目的	教育普及活動を行うことで、次代を担う子どもの想像力や創造力の育成を図る。	主たる内容	企画展関連のワークショップ及び夏休み・春休み期間中等の子ども向けワークショップを開催する。						
	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法						
		対象者	プログラムにより個別に対象年齢を設定		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		・ワークショップ 5種6回 ・参加者数 276人		・ワークショップ 5種7回 ・参加者数 154人		・ワークショップ 7種10回 ・参加者数 122人		・ワークショップ 7種10回 ・参加者数 150人		
成果		新型コロナウイルスの影響に配慮し、参加人数を通常より減らすことにより開催することができた。								
課題		多様なプログラムを提供できるように、幅広いジャンルの講師の発掘とともに、プログラムの補助スタッフ（会計年度任用職員）の確保が課題である。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標	開催回数（回）		6		7		10			
成果指標	参加者数（人）		276		154		122			
他市との比較検証	ワークショップ開催数（回）・対象者…高浜市やきもの里かわら美術館：7・未就学児～、碧南市藤井達吉現代美術館：25・幼児と保護者～中学生以上、名古屋美術館：5・子ども～大人、豊田市美術館：2・小学生、豊橋市美術博物館2・小学生と保護者、稲沢市荻須記念美術館：5・幼児と保護者～小学生									
C 事業 コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①		594	317	619	894	合計 619,325 円			
	財源	特定財源	0	4	12	25	報酬	45,322 円		
		一般財源	594	313	607	869	報償費	483,000 円		
	職員人件費 ②		2,310	2,240	1,893	1,894	旅費	6,860 円		
	総事業費（①+②）		2,904	2,557	2,512	2,788	需用費	75,993 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
3年度までの累積事業費		0		講座受講料						
5年度以降の事業費見込		0								

会計名			参加・体験型美術教育普及事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	5	7			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、教育活動の機会を提供し、及びその提供を奨励することが定められており、必要性が高い事業である。また、学習指導要領（図画工作）において、地域の美術館を活用した鑑賞教育が項目に挙げられていることから必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	造形教育の専門家等がプログラムの講師をすることで、きめ細かい指導が可能となり、参加者の満足度の高いプログラムが実施できている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	教育普及事業の企画運営は、教育活動に関する専門知識を持つ学芸員の経験等が必要になることから、市が主体となるのが最も望ましく妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	3歳児から中学生までを対象とした美術教育の体験を提供する民間施設等が少なく、市民サービスの向上に寄与している。 感染症対策として、マスクや消毒だけでなく、プログラムの内容にも配慮しながら事業を行うことができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
学校教育における図画教育の授業数が減少しており、学習指導要領において地域の美術館を活用した鑑賞教育等が奨励されていることから、教育効果の高い内容を企画運営し、参加者の発達段階に即した適切な事業を展開していきたい。					

会計名		施設管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	美術館		
款	項					目	担当係	美術館	
10	5					7			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	美術館及び佐喜知庵の適正な維持管理を行い、施設の環境を最適に保つ。		主たる内容	光熱水費、施設修繕料、建物清掃委託料など美術館・佐喜知庵の施設管理に関する費用を支出する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	昭和58年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 264日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 222日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 287日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 283日	
成果		施設、設備等が適切に維持管理ができ、来館者に快適な環境の提供ができた。							
課題		建設後37年を経過し、建物・設備の経年劣化が目立つ。施設の適正な維持、省エネルギーの観点からも計画的な施設・設備の更新を行うことが課題である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
成果指標		ギャラリーの展示室稼働率（％）			100	80.2	94.0	100	100
指標									
他市との比較検証		ギャラリー（貸館）の有無・展示室稼働率（％）…高浜市やきもの里かわら美術館：無、碧南市藤井達吉現代美術館：有・0.0、名古屋市美術館：無、豊田市美術館：有・61.1、豊橋市美術博物館：有・70.0、稲沢市荻須記念美術館：有・59.0							
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		33,094	31,619	34,529	36,049	合計	34,528,899 円	
	財源	特定財源	2,053	1,529	1,924	1,838	需用費	15,625,500 円	
		一般財源	31,041	30,090	32,605	34,211	役務費	560,324 円	
	職員人件費 ②		5,391	5,226	4,921	3,788	委託料	16,258,317 円	
	総事業費（①+②）		38,485	36,845	39,450	39,837	使用料及び賃借料	1,785,008 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0		美術館使用料 電話料実費徴収金					
5年度以降の事業費見込		0							

会計名		施設補修事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	美術館		
款	項					目	担当係	美術館	
10	5					7			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	美術館の施設を整備することで、来館者に快適な施設空間の提供を図る。	主たる内容	○防災設備点検不良箇所修繕 ○空調関係修繕 ○施設修繕・工事					
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市文化振興基本計画					
			根拠法令	博物館法					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	D 実績 O 実施	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		美術館の修繕 ・消防設備点検不良箇所修繕 ・資料室空調機取替修繕 ・空調フィルター取替修繕 ・全熱交換器フィルター取替修繕		美術館の修繕 ・ロビー吹抜け照明取替工事 ・空調設備等修繕 ・非常照明修繕 ・2階ロビー排煙口修繕 ・空調用自動制御器不具合修繕 ・雨水排水路修繕 ・竹垣他取替修繕 他		美術館の修繕 ・空調設備改修工事 ・ハロン消火設備修繕工事 ・蛍光灯等取替修繕		—	
成果		美術館の設備修繕は、予定されていた全ての修繕を実施し、来館者に快適な施設空間を提供できた。							
課題		施設・設備の経年劣化や補修部品の廃止等のため、建物・施設の改修、更新が必要な時期に達している。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
成果指標		年間入館者数（人）		112,147	62,904	68,702	80,000	90,000	
活動指標									
他市との比較検証		令和3年度施設修繕額（千円）…高浜市やきもの里かわら美術館：1,700、碧南市藤井達吉現代美術館：2,329、名古屋市美術館：11,650、豊田市美術館：19,482、豊橋市美術博物館：1,755、稲沢市荻須美術館：1,594							
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		2,551	5,769	10,010	0	合計	10,010,132 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,788,732 円	
		一般財源	2,551	5,769	10,010	0	工事請負費	8,221,400 円	
	職員人件費 ②		4,621	4,480	2,650	0			
	総事業費（①+②）		7,172	10,249	12,660	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名			収藏品等保存管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	5	7							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	美術作品の劣化を防ぐとともに作品の修復を行うことで、美術館収藏品や借り受けた美術品の適正な保存管理を図る。		主たる内容	美術品動産保険、収藏品の修復、収蔵庫の燻蒸及び保存環境測定に関する費用を支出する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法					
		対象者	—		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・1階収蔵庫燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品の撮影		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・収蔵庫・展示室等燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品の撮影		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・収蔵庫・展示室等燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品と既存作品の撮影		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・収蔵庫・展示室等燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品と既存作品の撮影	
成果		収藏品の適切な保存を図ったほか、新しく収集した一部の作品等の額装や撮影を行い、展示の管理が可能な状態に整えることができた。							
課題		新たに収集した作品は状態のよいものばかりではないため、修復・額装は新収藏品を優先して行っており、対処できなかった作品は次年度以降の予算内で数点ずつ行っている。そのため修復・額装をはじめ、撮影を必要とする作品が大量に残っている状況である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標		修復、保存措置等をした作品数（点） （写真撮影、額装等）		142	279	117	150	150	
活動指標		上記のうち展示や収藏品データベース等に活用した作品数（点）		110	223	80	100	100	
他市との比較検証		修復、保存措置等をした作品数（点）…碧南市藤井達吉現代美術館：93、名古屋市美術館：74、豊田市美術館：69、豊橋市美術館：29、稲沢市荻須記念美術館：1 収藏品点数（点）…高浜市やきもの里かわら美術館：2,536、碧南市藤井達吉現代美術館：2,022、名古屋市美術館：7,408、豊田市美術館：3,557、豊橋市美術館：67,286、稲沢市荻須記念美術館：273							
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		2,521	3,002	2,823	3,425	合計 2,823,163 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費 61,910 円 委託料 2,365,253 円 使用料及び賃借料 396,000 円		
		一般財源	2,521	3,002	2,823	3,425			
	職員人件費 ②		2,696	2,240	2,271	2,273			
	総事業費（①+②）		5,217	5,242	5,094	5,698			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名		業務管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	美術館		
款	項					目	担当係	美術館	
10	5					7			
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	作品選定や審査等の、適正な業務管理を行い、刈谷市美術館が收藏するにふさわしい美術品を収集することで、コレクションの充実を図る。	主たる内容	刈谷市美術館美術品審査委員会の開催費用を支出する。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	刈谷市美術館美術品審査委員会及び選定委員会設置要綱						
		対象者	美術品審査委員会委員、市職員	事業期間	平成4年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 実績 計画V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人	
成果		刈谷市美術品審査委員会の審議を経て、美術品収集方針に沿った優れた美術作品や、貴重な資料の収集を行うことができた。							
課題		審査委員が高齢化していることもあり、後任の委員の候補者を検討する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標		審査委員会開催回数（回）		1	1	1	1	1	
活動指標		審査作品数（購入・寄贈等）（件）		106	30	67	50	50	
他市との比較検証		審査委員会開催回数（回）・審査作品数（件）…高浜市やきもの里かわら美術館：0・0、碧南市藤井達吉現代美術館：2・61、名古屋市美術館：1・676、豊田市美術館：1・9、豊橋市美術博物館：2・35、稲沢市荻須記念美術館：1・8							
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		653	90	728	999	合計	727,670 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	64,100 円	
		一般財源	653	90	728	999	旅費	58,200 円	
	職員人件費 ②		3,851	3,733	3,407	3,409	委託料	605,370 円	
	総事業費（①+②）		4,504	3,823	4,135	4,408			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			次期企画展開催準備事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	5	7					担当係	美術館	
P L A N ハ 計 画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	次年度以降に開催を予定している企画展について調査研究、図録作成や広報等の準備作業を行うことで、事業の円滑な実施を図る。			主たる内容	企画展開催に係る調査研究、出品作品の選定、次年度春の企画展PR用ポスター・チラシ等の印刷、発送等の準備を行う。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画			根拠法令	博物館法		
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O ハ 実 施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備	
		成果	展覧会の準備・計画を行うためには、調査研究から出品作品の選定、交渉など多大な時間と予算が必要である。開催年度前から準備作業を行うことで、展覧会の充実が図ることができた。						
課題		新型コロナの影響が残ることを考慮しつつ、開催方法を検討する。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
成果指標	春季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）		80.9	—	90.8	95	95		
成果指標	秋季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）		83.8	—	87.5	95	95		
他市との比較検証	次年度以降の展覧会準備にかかる予算事業名及び内容…高浜市やきもの里かわら美術館：（次期企画展開催準備事業）運搬料等、碧南市藤井達吉現代美術館：（企画展開催事業）旅費・図書購入費等、豊田市美術館：（企画展調査費）旅費、稲沢市荻須記念美術館：（特別展企画展運営事業）旅費								
C 事 業 コ ス ト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,544	2,726	4,217	3,414	合計 4,217,238 円		
	財源	特定財源	222	0	0	0	旅費	970,320 円	
		一般財源	2,322	2,726	4,217	3,414	需用費	1,713,187 円	
	職員人件費 ②		5,776	5,600	4,164	4,166	役務費	317,571 円	
	総事業費（①+②）		8,320	8,326	8,381	7,580	委託料	1,216,160 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			一般企画展等実施事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	5	7			担当係	美術館			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
	施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり							
	目的	常設展示を行うことで、地域の人々に刈谷市美術館の収蔵作品等を紹介し、美術に対する理解・親しみを深める機会を提供する。また、呈茶事業を行うことで、気軽に茶道に親しむ機会を提供する。			主たる内容		収蔵作品を展示する常設展を、年4回程度開催する。また、一般市民向けの個人呈茶を実施する。		
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法					
		対象者	対象者を設定せず			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 計画 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・第1期常設展「西三河ゆかりの美術」32日 ・第2期常設展「すばらしき日本の美」21日 ・第3期常設展「1960-70年代のポスター」40日 ・第4期常設展「どうぶつパラダイス!!」5日 ・個人呈茶日数 145日		・第1期常設展「どうぶつパラダイス」29日 ・第2期常設展「New Collection展」20日 ・第3期常設展「没後10年瀬川康男展」19日 ・第4期常設展「絵画を愉しむ耳をすまして」34日 ・第5期常設展「大島哲以展」39日		・第1期常設展「寛忠治展」32日 ・第2期常設展「ミラクル・ミュージアム」39日 ・第3期常設展「New Collection展」43日 ・第4期常設展「花咲く絵画」44日		・第1期常設展「絵画を愉しむ抽象!？」31日 ・第2期常設展「Landscape」32日 ・第3期常設展「Memories」42日 ・第4期常設展「いきものバンザイ!」43日 ・個人呈茶日数 100日	
成果		常設展は、美術と個々の収蔵作品に親しんでもらえるように、ユニークなテーマを設けて4期開催し、各展ともに好評を得ることができた。							
課題		佐喜知庵の施設・設備・茶道具は、個人呈茶または貸切利用で毎日使用されるため、日常的な消耗・劣化が著しく、また十分な修繕や買替えが定期的に行われていないため、計画的に修繕・買換えの予算化を行うことが課題である。個人呈茶事業は委託団体の高齢化もあり、コロナの影響が大きく、事業を実施できなかった。次年度の再開時期についても検討が必要である。							
成果指標		指標名称（単位）		実績値			目標値		
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
成果指標	常設展入場者数（人）		35,216	30,380	38,570	40,000	40,000		
成果指標	個人呈茶人数（人）		3,550	0	0	1,500	2,000		
他市との比較検証	常設展開催日数（日）…高浜市やきものの里かわら美術館:258、碧南市藤井達吉現代美術館:0（改修工事中）、豊田市美術館:247、稲沢市荻須記念美術館266 常設展入館者数（人）…高浜市やきものの里かわら美術館:14,635、碧南市藤井達吉現代美術館:0（改修工事中）、豊田市美術館:76,731、稲沢市荻須記念美術館:12,578								
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,525	1,789	3,610	5,171	合計 3,609,777 円		
	財源	特定財源	1,201	124	194	1,326	報酬	1,425,824 円	
		一般財源	2,324	1,665	3,416	3,845	旅費	37,110 円	
	職員人件費 ②		5,006	5,973	5,299	4,545	需用費	103,272 円	
	総事業費（①+②）		8,531	7,762	8,909	9,716	役務費	462,321 円	
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
	3年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入				
	5年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			美術品等購入基金積立事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	5	7					担当係	美術館	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	刈谷市美術館等購入基金の運用収入金を基金へ積立てることで、基金の適切な運用を図る。			主たる内容	美術品等購入基金の利子の積立てを行う。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	刈谷市美術品等購入基金条例					
		対象者	対象者を設定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・運用収入金を基金に積立 586,071円		・運用収入金を基金に積立 463,726円		・運用収入金を基金に積立 417,234円		・運用収入金を基金に積立 417,000円	
成果		美術品等購入基金の利子を積み立てることで基金の増額を図った。							
課題		経済状況の悪化に伴う預金利率の低下により収益効果が悪化した。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
成果指標	運用収入金（千円）			586	464	417	417	—	
指標									
他市との比較検証	購入基金の有無…高浜市やきもの里かわら美術館：無、碧南市藤井達吉現代美術館：無、名古屋市美術館：有、豊田市美術館：無、稲沢市荻須記念美術館：有 基金額（内現金）・運用収入額（円）…名古屋市美術館：400,000,000（110,742,700）・0、稲沢市荻須記念美術館：26,262,241（同額）・3,481								
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費①		586	464	417	417	合計	417,234円	
	財源	特定財源	586	464	417	417	積立金	417,234円	
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費②		770	747	757	758			
	総事業費（①+②）		1,356	1,211	1,174	1,175			
建設事業	全体事業費（単位：千円）			0		3年度特定財源名称			
	3年度までの累積事業費			0		美術品等購入基金積立金利子			
	5年度以降の事業費見込			0					